

「ふくすいき ~福水企~」通信

令和7年11月号



企業団キャラクター
ピュータくん

この「ふくすいき~福水企~」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

●福岡地区水道企業団議会議員・監査委員合同行政視察〔10/20（月）・21（火）沖縄県 北谷町・うるま市〕

ちやたんちよう

企業団議会議員（大石 修二 議長ほか 12 名）及び監査委員（大森 一馬・松山 力弥 監査委員）が合同で、他都市の水道事業の施設・事業運営の取り組み等について実地調査を実施しました。

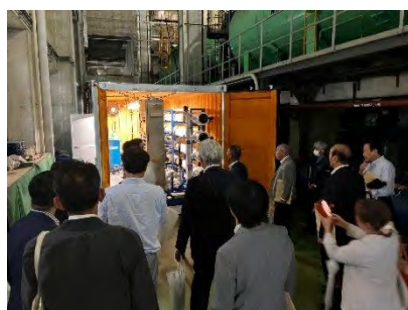
今年度は、沖縄県 中頭郡 北谷町の 北谷 浄水場及び海水淡水化センター、同県うるま市の倉敷ダムを訪れ、沖縄県企業局の職員から、福岡都市圏と同様に一級河川が無いなど水資源に恵まれない同県における水道用水供給事業や各施設の概要について説明を受けました。

今後、当企業団の事業運営に活かしてまいります。

＜議会事務局 森＞



北谷浄水場での事業説明



可搬型海水淡水化装置
(海水淡水化センター内)

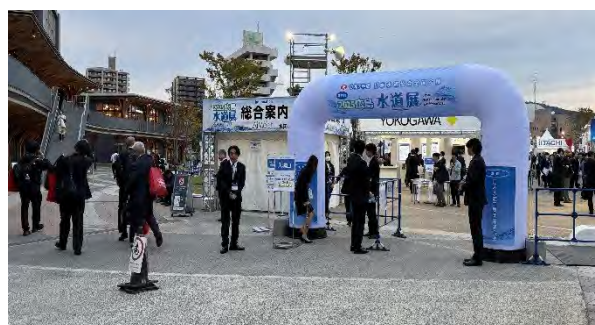


倉敷ダム展望タワー内

●令和7年度日本水道協会全国会議（第107回総会・水道研究発表会）【参加・発表しました】〔10/29（水）～31（金）広島市〕

広島市の『広島県立総合体育館』及び『ホテルメルパルク HIROSHIMA』にて、令和7年度日本水道協会全国会議が開催されました。当企業団からは職員6名が参加し、全国の水道関係者とともに、水道事業の課題解決に向けた議論や情報交換を行いました。

会議では、民間企業、水道事業体、学識者などから全11部門にわたる研究発表が行われ、業務改善や研究成果など、最新の知見が多数報告されました。



水道展の会場

当企業団からは水質部門において、『汚泥起因の残留塩素低下防止マニュアル策定とその効果』というテーマで発表を行いました。

この研究は、平成 31 年および令和 3 年の 4 月に、用水供給先の一部配水エリアで発生した残留塩素の異常低下事象を受けて行われたものです。

調査の結果、多量の生物を含む河川水を浄水処理した際に発生した汚泥が滞留し、腐敗によって塩素消費物質が生成されたことが原因と推定されました。

この事象を踏まえ、当企業団では再発防止に向けた対策マニュアルを策定し、生物の監視体制と汚泥管理の強化を図ることで、現在では同様の異常低下の再発を防止できています。

発表当日は、自治体職員や学識者など多くの水道関係者が聴講し、残留塩素低下時の水質変化やマニュアルの運用状況について活発な質疑応答が行われました。

今回の発表を通して、当企業団の技術的な取り組みと水質管理への姿勢を広く発信することができ、残留塩素管理への関心の高さを実感することができました。

全国会議と並行して、一般社団法人日本水道工業団体連合会主催の『水道展』も開催されました。日頃から関わりのある企業のブースを訪問し、製品の説明を受けることで、機器の構造や技術的な理解を深める貴重な機会となりました。

今回の全国会議および水道展で得られた最新の知見を活かし、調査研究等を継続して行い、安全で良質な水道用水の安定供給を支える業務に、より一層取り組んでまいります。

<会議報告：牛頸浄水場 末永・林>

<発表会報告：水質センター 池田>



発表する当企業団職員

●牛頸浄水場コスモス花見会【開催しました】〔10/24（金）・25（土）牛頸浄水場〕

牛頸浄水場では、施設の一部を開放し、地域の皆さまを対象に『牛頸コスモス花見会』を開催しました。

今年は、24日は晴れ、25日はあいにくの雨でしたが、2日間で約 400 名に來場していただきました。

來場された方々は、小さな子と花畑の中を散策したり、お花を摘んだりして和やかに過ごされていました。

今後も、地域の皆さまの良い思い出づくりの一助となれるよう浄水場の運用と併せて努めてまいります。



花見を楽しむ來場者

つづらはら
<牛頸浄水場 黒葛原>

■水源地域との交流事業

実施レポート

●流域連携基金事業『筑後川のめぐみフェスティバル』【参加しました】

〔10/18（土）・19（日）福岡市役所西側ふれあい広場〕

福岡都市圏は、使用する水道水の約3分の1を筑後川に頼っています。このため、筑後川への感謝の気持ちを表し、福岡都市圏住民と筑後川流域住民との交流を深めるため、今年も「筑後川のめぐみフェスティバル」が福岡都市圏広域行政事業組合の主催で開催されました。

今年は10月18日、19日の2日間にわたり開催され、多少雨が降りましたが、多くの来場者で賑わいました。

オープニングセレモニーでは、筑後川流域の観光大使やマスコットキャラクターなどが登壇するとともに、主催者代表による『くす玉割り』が行われました。

会場には、53のブースが設置され、筑後川流域から出店したグルメ・物産品販売が大勢の人でにぎわい、ステージでは、観光物産PR、物産品抽選会などのアトラクションがありました。

当企業団は福岡市水道局と合同で、利き水コーナー（海水淡水化水・水道水・ミネラルウォーターの3種類の水の飲み比べ）を実施し、2日間で約1,700人の参加がありました。

来場者の皆さまには、フェスティバルを通して『水』について考え、筑後川のめぐみを感じていただける良い機会になれば嬉しく思います。

最後に、利き水コーナーの運営にあたり、従事された構成団体の福岡市、宗像市、糸島市、太宰府市、粕屋町の職員の皆さま、ご協力いただき有難うございました。

＜総務課 川中＞

※ P6 に水資源機構の参加記事あり



福岡市役所ふれあい広場の入り口



利き水コーナーに並ぶ来場者



福岡市水道局と合同のブース

●第38回 筑後川河川美化『ノーポイ』運動【参加しました】

〔10/26（日）久留米市 筑後川河川敷〕

毎年恒例となっている国土交通省筑後川河川事務所主催の清掃活動が、今年も筑後川・矢部川で開催されました。

この取り組みは、河川環境の整備・保持、河川美化意識の向上、そして河川愛護思想の啓発を目的としています。

当企業団は、筑後川堤防の清掃エリア14kmのうち1.7kmを担当し、福岡都市圏の水道関係職員35人と当企業団職員9人が参加しました。

季節外れの強い日差しの中、参加者一人ひとりが汗を流しながら、例年以上の量のゴミを回収しました。

この活動は、河川や海の環境保全に貢献するとともに、不法投棄防止への啓発にもつながる重要な取り組みです。

当企業団では、今後も継続して参加し、美しい水辺環境の維持に努めてまいります。

＜総務課 川中＞



河川敷でのゴミ回収作業



企業団の参加者による成果

●弥生の都吉野ヶ里交流事業【参加しました】〔11/8（土）佐賀県吉野ヶ里町〕

福岡都市圏の水源地である五ヶ山ダム水源地域において、水源地の大切さを理解し、水源地の振興及び活性化を図ることを目的として、弥生の都吉野ヶ里交流事業実行委員会（吉野ヶ里町、福岡市水道局、当企業団で構成）の主催で、交流事業が実施されました。

福岡市内に居住するか通学する小学4～6年生とその保護者合計39人が参加し、福岡市職員からダムの説明を受けた後、那珂川市と吉野ヶ里町にまたがる五ヶ山ダムを堤体から見学しました。



五ヶ山ダムでの見学

次に、ダム建設により水没する場所にあった御神木で43mの高低差を引き上げて移植された『おがわち小川内の杉』を見学し、吉野ヶ里町の職員から吉野ヶ里の自然・歴史などの説明を受けました。

その後、吉野ヶ里町の『さとやま交流館』で、地元の食材を使った猪肉のバーベキューや『栄西茶』で昼食をとった後、木の実を使った工作で、思い思いの作品作りに挑戦しました。

最後に、地元のガイドである『さざんか塾』の講師に案内されて近くの山道を散策し、吉野ヶ里の魅力を満喫しました。

＜総務課 川中＞



『小川内の杉』の見学



木の実を使った工作に挑戦



ガイドの説明に耳を傾ける参加者

11 月、12 月の予定【開催されます】

●小石原川・佐田川『ノーポイ』運動〔11/26（水）朝倉市佐田〕

河川愛護や水産資源の保護を目的とした清掃活動が、独立行政法人水資源機構と甘木漁業協同組合の主催により、毎年開催されています。

当企業団は、各構成団体および福岡都市圏広域行政事業組合の職員の皆さんとともに、佐田川の寺内ダム貯水池周辺の清掃活動に参加する予定です。



昨年の活動

日 時 令和 7 年 11 月 26 日（水）

9：00～11：30（予定）

開催場所 佐田川（寺内ダム貯水池周辺），小石原川（江川ダム貯水池周辺）

問い合わせ先 独立行政法人 水資源機構 筑後川局

TEL：0942-34-7001 FAX：0942-37-8386

●合所ダム水源の森を守る森林セラピー事業〔12/6（土）うきは市〕

筑後川の水源地である『うきは市』には、福岡都市圏に水を供給する合所ダムがあります。

合所ダムの周辺では、日本棚田百景に選ばれた『つづら棚田』をめぐる森林セラピー体験と森林保全活動、耳納連山の豊かな自然を満喫するグランピング（BBQ、川遊び）などを行うことができます。

本事業は、筑後川のめぐみや自然環境を守る大切さを学んでいただくとともに、福岡都市圏の水源地である『うきは市』の豊かな魅力を感じていただける貴重な機会です。



日本棚田百選に選ばれた『つづら棚田』

日 時 令和 7 年 12 月 6 日（土）

8：00～16：30

開催場所 うきは市浮羽町新川地区 他

問い合わせ先 ※参加募集は終了しました

《事業について》

うきは市役所 うきはブランド推進課 地域振興係

〒839-1401 福岡県うきは市浮羽町朝田 582 番地 1

TEL：0943-76-9059 FAX：0943-77-5557

E-mail：tiiki@city.ukiha.lg.jp

■水資源機構だより

●江川ダム管理開始 50 周年特別ブース出展～筑後川のめぐみフェスティバル 2025～

水資源機構では、10月18日（土）・19日（日）に開催された「筑後川のめぐみフェスティバル 2025」に国土交通省筑後川ダム統合管理事務所との合同ブースでパネル展示等を実施しました。

水資源機構からは、江川ダム管理開始50周年を記念した特別展示ブースを出展し、江川ダムの事業効果やダムに沈んだ5つの集落の暮らしを紹介する写真展示を行うとともに、参加者へ江川ダムが描かれた記念マグネットを配布（記念バッジの当たり付き）しました。

展示では、福岡都市圏の水道水源の3分の1が筑後川水系であることや、その水源の第1号が江川ダムであることなどを伝え、来場者の方に水源地に関心を寄せていただきました。また、今回はステージイベントの中で江川ダムと中継が繋がれ、江川ダムをより身近に感じていただけたと思います。今後も、水の大切さやダムへの一般の方の理解を深めるため、様々な活動を続けてまいります。

※ P 3 に当企業団の参加記事あり



江川ダム 50 周年記念のブースとちっこりん



ステージイベントで江川ダムと中継

■水源地域の主なイベント 【お出かけください】

●おしろい祭り【12/2（火）朝倉市 大山祇 神社】

おやまつみ

（朝倉市から情報提供いただきました）

朝倉市杷木大山の大山祇神社で行われる300 年以上続く全国的にも珍しい「おしろい祭り」は、新米を粉にして水で溶いた『しとぎ』を顔に塗り、昔の農家の人が氏子の繁栄と新穀の豊作を神に感謝し、来年の五穀豊穡を祈願する行事です。

毎年12月2日に行われ、宮司のお払い、祝詞が奏上された後、氏子全員が宮座の膳につき、座元と言われる人達が『しとぎ』を持ち出して宮司の顔から塗り始め、参拝者全員におしろいが塗られていきます。このおしろいの付き具合で来年の『作柄』が占われます。

このおしろいは家に帰るまで落としてはいけないこととされており、帰ってから顔を洗った水を家畜に飲ませると無病息災だといわれています。

宮座の膳を持ち帰るための『藁芭』が用意されており、お酒で火照った顔におしろいが塗られた顔のままで、『藁芭』を肩に担いで家路につく姿は素朴な風景です。



おしろい祭り

日 時 令和7年12月2日（火） 14：00～ ※おしろいぬりは15：00～

開催場所 大山祇神社（朝倉市杷木大山） ※ 駐車場なし

問い合わせ先 道の駅「原鶴」インフォメーションセンター TEL：0946-62-0730

水源情報

企業団ホームページの「水源情報」は、毎日（土日祝を除く）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、
【水源情報】が載っています。
見てね！！



・企業団ホームページ「水源情報」アドレス

<https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>



編集後記

久しぶりに帰省する息子を迎えに福岡空港へ行きました。飛行機の遅れで待ち時間が出来たので、国内線展望デッキに上がったところ、多くの人がカメラを片手に飛行機の離着陸や待機場の写真を撮っていました。私も真似して何枚か写真を撮りましたが、ズームが間に合わず小さな画像になったり、飛行機の移動に追い付かず機体が切れたりと失敗を繰り返しました。しかし、“もっと迫力のある写真を撮りたい”と思うようになってきました。そこで、福岡空港周辺のフォトスポットを検索したところ、『大井中央公園』の評判がよいことが分かりました。

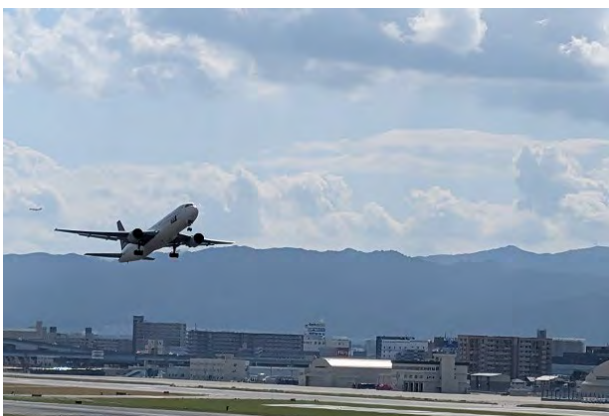
息子と合流した帰り道に『大井中央公園』に寄って、離陸直後の飛行機を下から撮影してみました。“なるべく大きく写したい”と思いスマホのカメラを拡大モードにしたところ、飛行機を見失ってしまい、何度も失敗してしまいました。

空を気持ちよさそうに飛ぶ飛行機を見て、カメラに捉えることの難しさを実感した一日でした。

<川>



福岡空港国内線展望デッキから



大井中央公園からの撮影



離陸直後を下から捉えた飛行機

★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、ご感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください

福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS〔X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram〕を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすく情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ、SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団 H P

<https://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 X (旧 Twitter)

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Facebook ページ

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 YouTube ページ



福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Instagram ページ



福岡地区水道企業団

